

# 同 志 社 大 学

## 2011 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2011 年 3 月 12 日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	教授	神山 貴弥
研 究 題 目	子どもの異学年交流と学校適応に関する研究 －社会的欲求充足の視点を中心に－	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度は、当初の予定を変更し、中学生を対象に社会的欲求尺度および学校適応感尺度を用いて調査を実施し、社会的欲求尺度の信頼性の検討、および社会的欲求の充足と学校適応感との関連について検討を行った。関西圏の大都市における、いわゆる困難校と呼ばれている2校、計15クラスの生徒を対象に質問紙調査を2度に渡って実施した。その結果、社会的欲求尺度が小学生を対象とした場合と同様に「交流・承認欲求」と「影響力欲求」として解釈される2因子構造であることが明らかになった。学校適応感との関連では、「交流・承認欲求」の充足が、学校適応感と関連することが示され、学校適応感の基盤が他者とのつながり、言い換えると「居場所」の存在であることが、改めて明らかにされた。現在、事後データが揃っていないためにまだ分析が進んでいないが、今後、事前・事後データを比較することで、異学年交流を含む学校での取り組みが、社会的欲求の充足や学校適応感に及ぼす影響を明らかにしていく。</p>	